

報告事項 1

令和6年度事業報告について

〔 自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日 〕

< 概 要 >

1 基幹事業の充実

(1) 情報事業

「新潟県女性センター情報」(4回)、啓発誌「ぶっくばらんす7号」を発行するとともに、財団ホームページ、SNS、新潟ユニゾンプラザ・イベント広場での情報発信に努めた。

(2) 研修事業

男女共同参画の視点からの人材育成や女性活躍を目的とした女性リーダー養成、女性のスキルアップ、育休復帰・再就業支援、男性にとっての男女共同参画の理解促進等のセミナーを実施した。

また、男女共同参画施策を全県的に展開するため、市町村との共催セミナーや市町村主催事業の運営協力に力を入れて取り組んだ。

新たに、若者に選ばれる企業の職場環境等に関する意識調査を実施し、その結果を参考に、若者や女性に選ばれる企業を目指してと題して企業トップセミナーを開催した。さらに同セミナー参加企業に対して企業間情報交換会や個別フォローアップ研修に取り組んだ。(県委託事業)

(3) 支援・交流事業

「にいがた女と男フェスティバル2024」を6月に開催し、基調講演会では会場参加の他、オンラインでの参加やサテライト会場の設置により広く県民に向けて開催した。

また、11月には国の運動期間に合わせ、女性に対する暴力をなくす運動に取り組み、新潟ユニゾンプラザのパープル・ライトアップのほか、女性に対する暴力防止セミナー、ユニゾンプラザでの広報展示等を実施した。

さらに、学生の進路選択におけるアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の解消を目的に6中学校で、女性講師によるキャリア支援講座を開催し、特に女性の理工系への進学・就職のロールモデルを紹介した。(県委託事業)

ハッピー・パートナー企業登録・支援事業(県委託事業)は、令和6年度の登録件数が216件と過去最高となり、有効登録企業数も1,722社となった。

女性のつながりサポート事業(県委託事業)では、女性のための相談窓口「にいがたRibbon net」の広報や参加団体の人材育成に取り組むとともに、相互支援の交流の場(ピアサポートイベント)の開催や困難な問題を抱える女性に対する個別訪問・同行支援の実施に取り組んだ。

(4) 相談事業

相談事業(県委託事業)を実施し、男女共同参画に関する相談をはじめ広く県民の悩み事相談を実施した。相談は電話、面談等で行い、相談内容に応じて関係機関、団体と連携して解決を支援した。

2 自主財源の確保

女性センターの施設管理協力金収入は増加、基本財産運用益はほぼ同額、受講料収入及び会費収入は減少した。

<事業活動>

1 情報事業（公益目的事業1）

男女が共に参画し、多様な生き方を選択できる社会の実現に向けた県民の理解や取組を促進し、支援するための各種情報の収集及び提供を行った。

(1) ホームページ、SNS等による情報の提供

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I-1 男女平等意識の浸透

財団が実施する事業をはじめ、男女共同参画に関する様々な情報をホームページやSNS等により発信・提供した。

- ・ 新潟県女性財団について
- ・ 情報公開、賛助会員・利用会員について
- ・ 会員募集（入会資格、お申込み方法、特典、会費等）
- ・ 講座・イベント一覧（募集・開催一覧、実施報告）
- ・ 新潟県女性センター情報、啓発誌ぶつくばらんす、貸出しビデオ
- ・ 新潟県男女平等推進相談室や各種相談窓口（にいがたRibbon net）
- ・ 新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）
- ・ 施設利用の案内（施設の紹介、ご利用方法、アクセス、利用会員割引）
- ・ 男女共同参画（県・市町村の担当部署一覧、計画・条例の制定状況等）
- ・ 保育ヘルパーグループ（市町村別保育ヘルパーグループ）
- ・ Facebook 及び X（旧ツイッター）、Instagram

(2) 機関紙等による情報の提供

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I-1 男女平等意識の浸透

I-2 男女平等の視点に立った社会制度・慣行の見直し

① 機関紙「新潟県女性センター情報」の発行 第137号～第140号

実施4回、各2,000部（計画4回、各2,000部）

男女共同参画の推進に関する様々な情報を発信した。

（配付先） 市町村、男女共同参画関連施設、公民館、財団会員等

◇ 第137号（2024.5）

- ・ にいがた女（ひと）と男（ひと）フェスティバル2024のご案内
「ハイヒールを履いたお坊さんと一緒に考える 人がそれぞれの色で輝くためのヒント」（講師）西村 宏堂さん
- ・ フェスティバル関連セミナーのご案内
（DVD上映会・人材育成セミナー・ミニセミナー）
- ・ 令和6年度女性財団の事業計画のご紹介

- ・ お知らせ パパのための育休ハンドブックを作成しました
- ・ 報告 中学・高校生向け 女性講師による理工系キャリア支援講座（出前講座）を開催しました。
- ・ 会員情報：一般社団法人大学女性協会新潟支部（JAUW）
- ・ お知らせ：女性団体交流室の施設管理協力金改定について

◇ 第 138 号 (2024. 7)

- ・ 令和 6 年男女共同参画白書
- ・ にいがた女（ひと）と男（ひと）フェスティバル 2024 講演会
- ・ 地域セミナーのご案内
- ・ 会員情報：三条女性会議
- ・ 県からののお知らせ：「女性支援新法」（令和 6 年 4 月 1 日から施行）

◇ 第 139 号 (2024. 11)

- ・ 新潟ユニゾンプラザ パープル（紫色）ライトアップ&展示ブース設置
- ・ 関連セミナーのご案内：何故DV関係になるのか～自分達、参加者達を見つめた気づき～（講師）中川 拓・中川 亜衣子
（(一社) エフエフピー 代表理事・理事）
- ・ 報告：女性講師によるキャリア支援講座（出前講座）を開催しました
- ・ 図書紹介：「声をあげて」（著者：五ノ井 里奈）

◇ 第 140 号 (2025. 2)

- ・ ぶっくばらんす 7 号「60 代×ジェンダー」（3 月発行）
- ・ 女性財団 今年度事業を振り返る
- ・ 会員情報：NPO 法人子ども・人権ネット CAP・にいがた
- ・ お知らせ：男女共同参画・女性関連のおすすめ図書をご紹介

② 啓発誌（ぶっくばらんす 7 号）の発行

発行 1 回 5,000 部（計画 1 回 5,000 部）

固定的性別役割分担意識を解消するための意識啓発や男女共同参画に関する問題の理解促進のためのハンドブックを発行する。

- ・ テーマ 60 代にきく！
- ・ 特集 『60 代×ジェンダー』
- ・ 発行 令和 7 年 3 月

③ 新潟ユニゾンプラザ・イベント広場での情報提供

- ◇ 「男女共同参画週間・フェスティバル 2024」 6 月 7 日～ 23 日
- ◇ 「女性に対する暴力をなくす運動」
- ・ パープル・ライトアップ 11 月 9 日～15 日
- ・ 展示ブース 11 月 6 日～24 日

研修事業（公益目的事業2）

人材育成や女性活躍等を目的とした各種セミナーの充実を図り、男女共同参画社会の形成に向けた啓発と人材の育成を図った。

実施方法については、リアル、オンライン又はその併用など柔軟に対応した。

(1) 男女共同参画の視点からの人材育成セミナーの開催（有料）

実施 8講座（計画12講座）

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅱ-1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

Ⅱ-2 女性の能力の開発・発揮

男女共同参画の視点を有し、リーダーシップを持って地域、団体、企業等における意思決定に参画する人材を育成するセミナーを開催した。

（注）参加人数（ ）内は男性参加者数（内数）、○内は自治体職員の参加者数（内数）。

日時・場所	実施概要	参加
6月22日(土) 13:30～16:30 女性団体交流室2	仕事や活動にすぐに活かせる！ 納得感の高い合意をつくる伝え方 (講師) 竹本 記子 (ナラティブ・エナジー 代表)	11 (4)人
7月28日(日) 13:30～16:30 【オンライン】	表現力ワークショップ 想いが通じる！文章のチカラをつける (講師) 山田 ズーニー (文章表現教育者・作家・慶應義塾大学非常勤講師)	25 (6)人
9月28日(土) 13:30～16:30 女性団体交流室2	リーダーのためのチームマネジメント研修 ～個を活かす組織運営～ (講師) 江口 瑛子 (株式会社HRインスティテュート チーフコンサルタント)	6(1) ②人
10月26日(土) 13:30～16:30 女性団体交流室2	相手に「うん」と言わせる 企画力アップセミナー (講師) 折戸 裕子 (株式会社カレントリンクス 代表取締役)	6 ②人
11月24日(日) 13:30～16:30 【オンライン】	自律型組織のつくり方 (講師) 熊平 美香 (昭和女子大学ダイバーシティ推進機構 キャリアカレッジ学院長/一般社団法人21世紀学び研究所 代表理事)	8(4) ②人
11月30日(土) 13:30～16:30 【オンライン】	ロジカル・コミュニケーション 分かりやすく論理的な伝え方 (講師) 照屋 華子 (コミュニケーション・スペシャリスト)	6(3)人

12月1日(日) 13:30~16:30 【オンライン】	不安を安心に変える「仕事」と「介護」両立セミナー (講師) 森 ゆき (株式会社マイキャリア・ラボ代表取締役)	中止
12月15日(日) 13:30~16:30 【オンライン】	学校改革から学ぶ組織論 (講師) 工藤 勇一 (教育アドバイザー/横浜創英中学校・高等学校前校長)	9(2) ①人
1月25日(土) 13:30~16:30 【オンライン】	クリティカル・シンキング(批判的思考) 基礎セミナー (講師) 福井 拓海 (株式会社HRインスティテュート コンサルタント)	9(1) ③人
計		80(21)⑩人

(2) 企業等における男女共同参画や女性活躍を支援するセミナーの開催

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅱ 女性が活躍できる社会づくり

働く女性の「スキルアップセミナー」(有料)

実施5講座(計画5講座)

企業等における女性の活躍やキャリアアップを支援するセミナーを開催した。

日時・場所	実施概要	参加
13:00~17:00 【オンライン】	「自分らしいステップアップのためにスキルを磨く」 (5回講座) 【part1. リーダー養成コース】 (講師) 菅生 としこ (株式会社 AWESOME EYE 代表取締役)	
①11月17日(日)	① 「あなたの力が最大限生きる仕事術」	中止
②12月7日(土)	② 「多様なメンバーを活かす対話術」	②3人
	【part2. リーダーシップ実践コース】 (講師) 高見 真智子 (一般社団法人 WE-Next 代表)	
③1月18日(土)	③ 「キャリアマネジメントセミナー 育てることで私が進化する」	③4①人
④2月15日(土)	④ 「リーダーに求められる課題解決力 可視化の力で未来を解く」	④ 6①人
⑤3月8日(土)	⑤ フィードバックの技術 本気のフィードバックで人と組織が進化する」	⑤5①人
計		18人③人

(3) 女性の（再）就業や育休後の職場復帰を支援するセミナーの開催

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅱ—2	女性の能力の開発・発揮
Ⅱ—4	雇用等の分野における男女均等な機会と待遇の確保
Ⅲ—1	男性中心型労働慣行等の見直し、及び仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランスを可能とする就業環境の充実

育休復帰支援セミナー（無料）

実施3講座（計画3講座）

育休中の女性等を対象に円滑な職場復帰や長期的なキャリアアップ等を支援するセミナーを開催した。

日時・場所	実施概要	参加
12月20日(金)	【3回連続講座】 ①「職場復帰まであと少し！ 気持ちの整理と私の未来を考える」 (講師) 林田 香織 (wonder Life 代表)	① 9人
1月23日(木)	②「先輩ママの体験談と 朝の時短今からできること お肌編」 (講師) 五十嵐 さとみ (株式会社ポーラ TB 事業部 関越ユニット)	② 10人
30日(木) 10:00～12:00 女性団体交流室2 【オンライン併用】	③「いよいよ職場復帰！ 気持ちが伝わるコミュニケーション」 (講師) 菊野 麻子 (フリーアナウンサー)	③ 11人
計		30人

(4) 女性センター講座等の開催

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I—3	男女平等の視点に立った教育・学習の充実
Ⅱ—1	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
Ⅱ—2	女性の能力の開発・発揮
Ⅲ—2	男性にとっての男女共同参画の促進

① **女性センター講座**

実施4講座（計画3講座）

固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画社会の理解促進を図る、現代的課題をテーマとした啓発講座を開催した。

日時・場所	実施概要	参加
6月22日(土) 10:00～12:00 4階 大会議室	DVD上映会 「メイド・イン・バン格拉ディッシュ 白いミシンとカラフルな布と糸に囲まれたこの場所が世界への扉」	36(7) 人
10月27日(日) 13:30～16:30 女性団体交流室2	対話型鑑賞ワークショップ みて、きいて、かんがえて、発見する！ (講師) 樋宮 真奈美 (対話型鑑賞ファシリテーター/ 21世紀型教育を考える会にいがた)	19(4) 人
11月8日(金) 14:00～16:00 女性団体交流室1 【オンライン併用】	「何故DV関係になるのか ～自分達、参加者達を見つめた気付き～」 (講師) 中川 拓・中川 亜衣子 (一般社団法人 エフエフピー 代表理事 / 理事)	86(19) 人
2月1日(土) 13:30～15:30 【オンライン】	「女性の貧困問題を考える」 (講師) 飯島 裕子 (桜美林大学准教授 / ノンフィクションライター)	20(3) 人
計		161(33)人

② 男性向け講座

実施2講座 (計画3講座)

男性にとっての男女共同参画の意義の理解促進や、男性の固定的性別役割分担意識の解消、男性の家事・育児参加等を促進する講座を開催した。

日時・場所	実施概要	参加
2月2日(日) 10:00～12:00 女性団体交流室2	「妻が育休後、職場復帰します。」 先輩ママに聞く…復帰後、どうでした？ 「夫婦で仕事と家事育児…朝からバタバタです。」 話題提供：進行役1名 先輩ママ1名	5(5)人
2月16日(日) 10:00～12:00 女性団体交流室2	「妻が育休後、職場復帰します。」 先輩パパに聞く…復帰後、どうでした？ 「チーム育児・ふたりでいっしょにやっていく。」 話題提供：進行役1名 先輩パパ2名	4(4)人
計		9(9)人

(5) 地域セミナーの開催

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

- | | |
|-----|----------------------------|
| I | 男女平等を推進する社会づくり |
| II | 女性が活躍できる社会づくり |
| III | 男女が共に参画し、多様な生き方が選択できる社会づくり |

地域における男女共同参画を推進するため、市町村や地域の団体等と連携し、それぞれの地域の課題をテーマとしたセミナー、イベント等を開催した。

また、開催が困難な地域を対象に、地域ニーズに応じた啓発講座の開催や事業の企画・運営に対する協力・支援を行った。

① 市町村等との共催セミナー

実施 12 地域 (計画 12 地域)

日時・場所	実施概要	参加
見附市 6月9日(日) 14:00～15:00 あかり村キャンプ場	親子で遊んで学べる 防災ワークショップ (講師) 佐竹 直子 (チーム中越 代表、子育て防災支援士)	71 (-) 人
魚沼市 7月27日(土) 14:00～15:30 魚沼市小出ボランティアセンター	パパ育休が当たり前に 男性の育児休業への取り組み方 (講師) 高野 真規 (ワークシフト合同会社代表社員)	22 (7) 人
柏崎市 9月6日(金) 15:00～16:50 柏崎市役所	男性育休応援セミナー (講師) 高野 真規 (たかの社会保険労務士法人 代表)	16 (6) 人
燕市 9月8日(日) 13:30～15:30 燕文化会館	世代間ギャップを扉に変える ～価値観の“違い”を認め、共に進む未来へ～ (ゲストパネラー) ・遠藤 麻里 (ラジオパーソナリティー) ・いっすねー山脇 (吉本興業所属お笑い芸人・燕市 PR 大使)	123 (44) 人
加茂市 10月19日(土) 10:00～11:30 加茂市役所	昔と今、子育てってどう違うの? ～家族みんなでいっしょにやる方法～ (講師) 佐竹 直子 (蔵王のもりこども園 園長)	13 (6) 人
津南町 10月27日(日) 10:00～12:00 津南町文化センター	ハーブでココロを整える ～女性のためのリフレッシュ講座～ (講師) 土田 陽子 (ハーヴェスト コーチ/上級ハーブインストラクター)	9 (0) 人
三条市 11月3日(日・祝) 10:30～12:00 三条東別院施設内	心と体のセルフメンテナンス (講師) 水科 江利子 (ie スタジオ 代表)	26 (0) 人
佐渡市 11月3日(日・祝) 13:00～15:00 あいぼーと佐渡	みんなで子育てせんかっちゃ! ～子育て今昔物語～ (講師) 松山 由美子 (NPO 法人はっぴい mama 応援団 代表理事)	19 (6) 人
南魚沼市 11月6日(水) 13:30～16:00 大和市民センター	男性の育児休業取得促進セミナー ～男性育休で、企業が、働き方が変わる～ (講師) 田中 亮祐 (株式会社 WLB 代表取締役)	22 (16) 人

新発田市	11月9日(土) 13:30～15:00 イクネスしばた	ひとりひとりが人生の主役！ さとちん レインボートークショー (講師) さとちん (ラジオパーソナリティー・タレント)	71 (13)人
上越市	[第1回] 12月8日(日)	[第1回] 疲れた心と体をリフレッシュ！ (講師) 内山 麻理子 (ボディメイクインストラクター)	15 (0)人
	[第2回] 12月14日(土) 10:00～12:00 上越市民プラザ	[第2回] 古い支度。備えあれば憂いなし (講師) 朝日 由香 (国家資格キャリアコンサルタント)	22 (2)人
小千谷市	1月18日(土) 13:30～15:30 小千谷市民学習センター	LGBTQをもっと身近に感じるために ～当事者の生活とパートナーシップ～ (講師) あやか (LGBTQ こころテにいがた 代表)	26 (11)人
計			455(111)人

② 市町村主催事業への協力・支援

実施1地域 (計画1地域)

日時・場所	実 施 概 要	参 加
新発田市 3月9日(日) 14:00～16:00 イクネスしばた	自分らしく輝く毎日をすごそう！ 仕事とプライベート 気軽におしゃべり (講師) 佐藤 智香子 (料理家・フリーアナウンサー)	9 (0)人

(6) 企業等における女性活躍を促進するセミナー等の開催 (県委託事業)

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅱ-2 女性の能力の開発・発揮

Ⅱ-3 女性の県内定着、U・Iターンのための環境整備

企業等における男女共同参画や希望する女性がいきいきと活躍できる職場づくりを支援するためのセミナー等を開催した。

① 意識調査・トップセミナー・企業間情報交換会 (県委託事業)

○ 若者に選ばれる企業の職場環境等に関する意識調査

実施2講座 (計画0講座)

日時・場所	実施概要	参加
【アンケート期間】 5月31日～ 8月30日 ① 【新潟】 10月9日(水) 15:30～17:00 SeaPoint Niigata × MOYORe; ② 【長岡】 10月16日(水) 15:00～16:30 長岡大学	○ 事前アンケート 企業における女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組の一環として、企業へのアプローチの参考とするため、県内の大学生を対象に「働きたいと思う職場環境」などに関するアンケート調査を行った。 ○ 意見交換会 アンケートへの結果に基づき、「どのような環境で働きたいか」などに関する意見交換(グループワーク)を行った。 ① 【新潟会場】 (講師) 中村 華子・乙川 文香 (NPO法人 みらいず works) ② 【長岡会場】 (講師) 綿貫 晴子 (株式会社エム・エスオフィス)	①5(4) 人 ②6(3) 人 計 11(7)人

○ トップセミナー

実施1講座 (計画1講座)

日時・場所	実施概要	参加
11月26日(火) 14:30～16:30 新潟県自治会館 【オンライン併用】	企業トップセミナー ～若者や女性に選ばれる企業を目指して～ ①基調講演 「新潟の経済界こそが、新潟人口の未来を変える～データで読み解く人口減少の真実と県内企業が取るべき戦略」 (講師) 天野 馨南子 (株式会社ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャー)	145 人 [内オンライン] 96 人

	<p>②パネルディスカッション 「若者や女性に選ばれる企業になるために ～雇用で失った人口を雇用で取り戻す～」 (司会) 菊野 麻子 (Kアプローチ代表/フリーアナウンサー)</p> <p>(パネリスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天野 馨南子 (株式会社ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャー) ・平松 しのぶ (株式会社モザイクワーク 取締役) ・齊藤 大樹 (株式会社齊藤光学製作所 代表取締役) 	
--	--	--

○ 企業間情報交換会

実施2講座 (計画2講座)

日時・場所	実施概要	参加
<p>【新潟】 12月12日(木) 13:30～16:30 女性団体交流室2</p> <p>【長岡】 12月13日(金) 13:30～16:30 ハイブ長岡</p>	<p>新潟県 選ばれる企業×女性活躍推進事業 企業間情報交換会 ～さらなる成長へのヒントや実践方法を学ぶ～</p> <p>○ 取組事例紹介 (紹介者)・株式会社 明治 ・小柳建設 株式会社</p> <p>○ ワークショップ 「一人ひとりが活躍する企業に！～他社から学ぶ～」 (講師) 弥富 洋子 (新潟大学大学院教育支援機構 PhDリクルート室 特任教授)</p>	<p>【新潟】 15(9) 人</p> <p>【長岡】 11(3) 人</p>
計		26(12)人

② トップセミナー等参加企業への個別フォローアップ研修

実施14社 (計画10社)

○ 専門家によるダイバーシティを進める出前講座

日時・場所	実施概要	参加
<p>12月9日(月) 16:00～17:00 【オンライン】</p>	<p>株式会社トキワインテリア 「男性の育児休業取得促進」 (講師) 高野 真規 (ワークシフト合同会社代表社員)</p>	<p>6(3) 人</p>

2月12日(水) 14:30～15:30 【オンライン】	株式会社スミック 「管理職向けハラスメント防止研修」 (講師) 高野 真規 (ワークシフト合同会社代表社員)	16(15) 人
2月13日(木) 13:15～14:45 阿部幸製菓(株)	阿部幸製菓株式会社 「一人ひとりが活躍する会社に！～女性活躍推進から～」 (講師) 弥富 洋子 (新潟大学大学院教育支援機構 PhD リクルート室特任教授)	21 (13) 人
2月14日(金) 13:30～17:00 直江津学びの交流館	株式会社大島組 「一人ひとりが活躍できる組織を目指して」 (講師) 中野 享香 (新潟大学ダイバーシティ推進センター 准教授)	28(23) 人
2月26日(水) 13:30～15:00 【オンライン】	株式会社ソフト・ドゥ 「育児介護と仕事の両立、キャリアデザインを考える」 (講師) 白井 一美 (国家資格キャリアコンサルタント)	5(0) 人
2月27日(木) 10:00～11:30 プライムテック(株)	プライムテック株式会社 「みんなでつくる 誰もが活躍できる企業風土」 (講師) 丸山 結香 (有)MAX ZEN performance consultants 代表取締役)	21(18) 人
3月5日(水) 14:20～15:30 特別養護老人ホーム 藤花・小阿賀	社会福祉法人藤の木原福祉会 「ワーク・ライフ・バランス」 (講師) 礒谷 哲夫 (よつばワーク社会保険労務士法人 特定社会保険労務士)	19(7) 人
3月10日(月) 10:00～11:30 (株)エム・ エスオフィス	株式会社エム・エスオフィス 「健康課題と仕事の両立」 (講師) 礒谷 哲夫 (よつばワーク社会保険労務士法人 特定社会保険労務士)	6(1)人
3月10日(月) 13:00～14:30 山崎醸造(株)	山崎醸造株式会社 「働く女性のためのキャリアデザイン研修」 (講師) 白井 一美 (国家資格キャリアコンサルタント)	12(1) 人
3月17日(月) 13:30～14:30 吉田金属工業(株)	吉田金属工業株式会社 「ワーク・ライフ・バランス」 (講師) 高野 真規 (ワークシフト合同会社代表社員)	29(0) 人

3月19日(水) 10:30~12:00 バオバブ(株)	バオバブ株式会社 「ワーク・ライフ・バランス」 (講師) 田中 亮祐((株)WLB 代表取締役)	12(4) 人
3月19日(水) 14:00~15:00 【オンライン】	ハウメット・システムズ・ジャパン株式会社 「育児・介護と仕事の両立」 (講師) 礮谷 哲夫 (よつばワーク 社会保険労務士法人 特定社会保険労務士)	24(9) 人
3月24日(月) 9:00~10:30 コンドウ印刷(株)	コンドウ印刷株式会社 「健康課題と仕事の両立」 (講師) 平澤 幸恵 (ウイメンズ・ヘルス lab 助産師)	21(8) 人
3月25日(火) 13:30~15:00 (株)新潟日報 メディアネット	株式会社新潟日報メディアネット 「働く女性のためのキャリアデザイン研修」 (講師) 白井 一美 (国家資格キャリアコンサルタント)	9(0) 人
計		229(102)人

③ 若年～中堅女性社員向け研修

実施9講座(計画8講座)

日時・場所	実施概要	参加
【新潟】 ①8月26日(月) ②9月24日(火) 【長岡】 ①8月27日(火) ②9月26日(木) 【上越】 ①8月28日(水) ②9月25日(水)	働く女性のキャリアデザイン応援セミナー 「私らしく働き続けるためのマインドとスキル」 【Program 1】 ① ビジョンを描く～中長期でありたい姿を考えよう～ (講師) 小安 美和 (株式会社 Will Lab 代表取締役)	【新潟】 12人 【内オンライン】 6人
【新潟】 11月13日(水)	【Program 2】 ② スキルを磨く～ビジョンをカタチにするために～ (講師) 小安 美和 (株式会社 Will Lab 代表取締役)	【新潟】 12人 【内オンライン】 6人
【長岡】		【長岡】 10人

11月11日(月) 【上越】 11月19日(火) 【新潟会場】 女性団体交流室2 【長岡会場】 ハイブ長岡 【上越会場】 上越市民プラザ 13:30～16:30 (※新潟会場のみ オンライン併用)	【Program 3】 ③ マインドを高める ～先輩ゲストから学び、ネットワークを広げよう～ (講師) 丸山 結香 (有限会社 MAX ZEN performance consultants 代表取締役)	【上越】 5人 【新潟】 10人 【内オンライン】 2人 【長岡】 11人 【上越】 5人
計		80人

3 支援・交流事業（公益目的事業3）

市町村、各種団体、学校、企業等における男女共同参画に向けた活動を支援し、交流を促進することで連携・協働による男女共同参画社会の形成を進めた。

(1) にいがた女と男フェスティバル 2024 開催事業

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I-1	男女平等意識の浸透
I-2	男女平等の視点に立った社会制度・慣行等の見直し
II-2	男性にとっての男女共同参画

実施1回（計画1回）

6月の国の男女共同参画週間にあわせて、新潟ユニゾンプラザを会場に、県民の意識啓発を目的とした「にいがた女と男（ひととひと）フェスティバル2024」を開催した。（期間6月22日(月)から23日(日)・サテライト会場11市）

○ 基調講演

(日 時) 6月23日(日) 午後1時30分から3時30分
(会 場) 新潟ユニゾンプラザ 4階大研修室 大会議室 (オンライン配信会場)
(テーマ) 「ハイヒールを履いたお坊さんと一緒に考える
人がそれぞれの色で輝くためのヒント」
(講師) 西村 宏堂さん (アーティスト・僧侶)

○ フェスティバル関連事業（3セミナー・講座）

（日 時） 6月22日(土)～23日(日)

（会 場） 新潟ユニゾンプラザ 大会議室、新潟県女性センター女性団体交流室2等

日時・場所	実 施 概 要	参 加
6月22日(土) 10:00～12:00 4階 大会議室	DVD上映会 「メイド・イン・バングラディシュ（再掲） 白いミシンとカラフルな布と糸に囲まれたこの場所が世界への扉」	36 (7)人
6月22日(土) 13:30～16:30 女性団体交流室2	仕事や活動にすぐに活かせる！ 納得感の高い合意をつくる伝え方 (講師) 竹本 記子 (ナラティブ・エナジー 代表)	11 (4)人
6月23日(日) 10:00～12:00 女性団体交流室2	「ダイバーシティ・ワークショップ ー多様性を理解し、尊重し合える関係づくりにむけてー」 (講師) 竹本 記子 (ナラティブ・エナジー 代表)	13 (3)人
小 計	(財団が主催する3つの関連セミナー・講座)	60(14)人
6月23日(日) 13:30～15:30 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 大会議室 【オンライン併用】	○ 講演会 「ハイヒールを履いたお坊さんと一緒に考える 人がそれぞれの色で輝くためのヒント」 (講師) 西村 宏堂さん (アーティスト・僧侶)	444(79) 人 【内オンライン】 319(64) 人
計	(講演会と3の関連セミナー・講座)	504 (93)人

(1-2) 男女共同参画に関する啓発（キャンペーン）活動

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I-3	男女平等の視点に立った教育・学習の充実
I-4	女性に対するあらゆる暴力の根絶
III-2	男性にとっての男女共同参画の促進
III-5	地域や防災・災害復興分野等における男女共同参画

男女共同参画社会の形成に向け、県民に対する様々なキャンペーン活動を実施した。

① 女性に対する暴力をなくす運動

国の運動期間（11月12日～25日）にあわせ、女性に対する暴力の根絶に対する啓発活動を展開した。

- 新潟ユニゾンプラザ・パープル・ライトアップ
11月9日（土）から15日（金）まで 午後5時から8時30分まで
- ユニゾンプラザ1階イベント広場での広報展示
11月6日（水）～24日（日）
- パープルリボンの配布、着用
- 女性に対する暴力防止セミナーの開催（※女性センター講座内で実施）

日時・場所	実施概要	参加
11月8日(金) 14:00～16:00 女性団体交流室1 【オンライン併用】	「何故DV関係になるのか ～自分達、参加者達を見つめた気付き～」 (講師) 中川 拓・中川 亜衣子 (一般社団法人 エフエフピー 代表理事 / 理事)	86(19) 人

② 男女共同参画の視点からの防災対策

これまでの災害において女性の参画が十分に確保されてこなかった反省から、男女共同参画の視点からの防災対策の普及・啓発を図った。

○ 見附市での地域セミナーの実施（再掲）

6月9日(日) 14:00～15:00 あかり村キャン プ場	「親子で遊んで学べる 防災ワークショップ」 (講師) 佐竹 直子 (チーム中越 代表・子育て防災支援士)	71 (一) 人
---	--	-------------

○ 令和6年度「男女共同参画の視点による災害対応研修」参加

(テーマ) 「誰も取り残さない災害対策

～地域防災力向上のために、今、できること～

(主 催) 独立行政法人国立女性教育会館 (NWE C)

(日 時) 令和6年10月29日 (火)～12月3日 (火)

(オンデマンド配信)

○ 令和6年度「災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク（通称：相互支援ネット）オンライン研修・動作確認訓練に参加

(主 催) NPO法人全国女性会館協議会

(日 時) 令和6年12月11日 (水) 14時～15時

③ 女性ロールモデル啓発事業（県委託事業）

進路選択におけるアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）の解消を目的

として、学生を対象に理工系などへの進学・就職のロールモデルを紹介する出前講座を開催した。

○ 女性講師によるキャリア支援講座（出前講座） 実施6校（計画10校）

日時・場所	実施概要	参加
6月27日(木) 13:35～15:05	新潟市立新潟柳都中学校 (講師) 榎潟 未紀 (はれいろごはん主宰・管理栄養士)	26 (15)人
7月3日(水) 11:40～12:30	長岡市立江陽中学校 (講師) 有満 望 (旭カーボン株式会社研究開発部プレミアムソリューション製品開発課)	127 (74)人
【1回目】 10月24日(木) 【2回目】 10月31日(木) 13:40～15:00	聖籠町立聖籠中学校 【1回目】(講師) 坂井 真唯 (小柳建設株式会社 建設事業部 建築工事部 第1チーム) 【2回目】(講師) 曾根 亮子 (株式会社皆川製作所 代表取締役社長)	① 17(6)人 ② 16(7)人
1月24日(金) 14:35～15:25	新潟市立白新中学校 (講師) 田村 紗季 (CEC新潟情報サービス株式会社) 半田 真由美 (新潟労働金庫)	53 (31)人
2月21日(金) 13:30～15:20	新発田市立第一中学校 (講師) 清水有希 (フジイコーポレーション株式会社 機械事業部・販売部) 椿 夕陽 (一正蒲鉾株式会社 品質保証部 品質保証課)	89 (40)人
3月6日(木) 13:25～14:15	新潟市立小新中学校 (講師) 竹内麻希子・女子学生2人 (長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科) 大澤 容佳 (グローバル・マーケティング株式会社)	108 (61)人
計		436 (234)人

(2) 企業等との連携・協働

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅱ-1	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
Ⅱ-2	女性の能力の開発・発揮
Ⅱ-4	雇用等の分野における男女均等な機会と待遇の確保

企業における男女共同参画を推進するため、男女が共に働きやすく、仕事と生活の調和がとれた社会づくりを目指し、女性活躍を推進する企業や働く女性を対

象とした交流会の開催をはじめ、企業等の女性活躍推進の支援。

- ① 企業交流会議（県委託事業） 実施0回（計画1回）
※他の委託事業と内容や時期が重複したため中止
- ② 企業等における女性活躍推進の取組支援 実施0企業（計画5企業）

(2-2) ハッピー・パートナー企業登録・支援事業（県委託事業）

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

Ⅲ—1 男性中心型労働慣行等の見直し、及び仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランスを可能とする就業環境の充実

Ⅱ—3 女性の県内定着、U・Iターンのための環境整備

Ⅱ—4 雇用等の分野における男女均等な機会と待遇の確保

新潟県と連携し、男女共同参画の推進に積極的な企業を登録しその活動を支援する「ハッピー・パートナー企業登録制度」の業務を行った。

① ハッピー・パートナー企業登録制度の広報

- パンフレットの配付
(配付先) 市町村や商工会議所等の関係団体等(約220か所)
(配付数) 3,000部
- 財団ホームページへのバナー掲載(県ホームページへのリンク)

② ハッピー・パートナー企業の登録審査(登録状況)

- 登録決定件数(令和7年3月末現在)
 - ・基本登録 216件
 - ・パパ・ママ子育て応援プラス認定 177件
 - ・登録抹消件数 14件
- 有効登録企業数 1,722社(令和7年3月末現在)
うちパパ・ママ子育て応援プラス認定企業964社

③ 「ふれ愛ほっとらいん」(広報誌)の作成

県全体の男女平等施策の周知、広報のため、広報誌を作成しハッピー・パートナー企業等への配付を行った。(※企業等へは原則メール配信により配付)

- ◇第297号(令和6年6月。発行約300部)
- ◇第298号(令和6年9月。発行約300部)
- ◇第299号(令和7年1月。発行約400部)
- ◇第300号(令和7年3月。発行約400部)

④ その他

企業アンケート、シンボルマークプレートの販売、登録企業への県・財団の事業等に関するメール配信等を行った。

(3) 各種団体との連携・協働

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I	男女平等を推進する社会づくり
II	女性が活躍できる社会づくり
III	男女が共に参画し、多様な生き方が選択できる社会づくり

男女共同参画の推進や女性活躍の推進に向けて様々な活動に取り組んでいる各種団体等と連携・協働するとともに、その活動を支援した。

① 各種団体への活動支援・運営協力（男女共同参画共働・支援事業）

実施4団体（計画3団体）

男女共同参画のための様々な活動に取り組んでいるNPO等各種団体の自主的な活動に対し支援・協力した。

日時・場所	実施概要	参加
7月27日(土) 13:30～16:30 女性団体交流室2	○ NPO 法人 日本ファシリテーション協会 新潟サロン 「実践者から学ぶ！ファシリテーション道 入門編 ー今日から活かせる場づくりのスキルー」 (講師) 山本 一輝 (Inquiry 合同会社 代表社員)	22 (10)人
9月29日(日) 13:30～15:30 女性団体交流室2	○ はなのね 「もしもの時は明日かも… 人生会議 (ACP) してみませんか？」 (講師) 生駒 美穂 (ACP スペシャリスト/医師)	11 (0)人
3月1日(土) 13:30～15:30 女性団体交流室2	○ NPO 法人 子ども・人権ネット CAP・にいがた 「子どもへの性暴力、その後、そしてケア」 (講師) 八木 淳子 (岩手医科大学医学部 神経精神科学講座教授・ いわてこどもケアセンター副センター長)	56 (5)人
3月2日(日) 13:30～15:30 女性団体交流室2	○ 株式会社ポーラ関越ユニット 国際女性デー企画「POLA メークレッスン ～仕事モチベ up メーク&簡単！ポイントメイク」 (講師) 株式会社ポーラ関越ユニット 新潟事務所スタッフ	11 (0)人
計		100(15)人

② 理事長等出張講座

実施2講座（計画3講座）

日時・場所	実施概要	参加
7月4日(木) 15:20～16:15 新潟清心女子中学・ 高等学校第一体育館	○ 新潟清心女子中学・高等学校 ジェンダー理解を深める会 「ジェンダー平等社会の実現に向けて ～女性の社会進出の現状と課題～」(理事長)	約186人
11月12日(火) 13:30～15:30 シェ・トヤ	○ 上越商工会議所 異業種・女性中間管理職交流会 「ジェンダー平等を目指して」(理事長) ※講演後(15:40～)交流会	30 (0)人
計		約216人

(3-2) 女性のつながりサポート事業（県委託事業）

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I—4 女性等に対するあらゆる暴力の根絶

III—4 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

新潟県と連携し、新型コロナウイルスの感染拡大等により様々な困難を抱える女性を支援するため、各種相談・支援窓口相互の連携体制づくりをすすめるとともに、相談・支援窓口の周知を図った。

① 相談・支援窓口の人材育成セミナー

実施2回（計画2回）

○ 女性の相談・支援に携わる方のための研修

「様々な困難を抱える女性の支援について考える」

(講師) 小松 明子

(ウィメンズカウンセリング京都/日本フェミニスト
カウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー)

【1回目】

(開催日) 令和6年11月11日(月)

(参加者) 20団体 29人

(内容) 支援者に求められるジェンダー・センシティブティ

【2回目】

(開催日) 令和6年11月18日(月)

(参加者) 14団体 20人

(内容) 子ども時代の逆境的な体験とその影響

② 相談・支援窓口の周知、支援対象者の掘り起こし等

○ ポスター、リーフレット等の作成、配付

- ・ ポスター 999枚
- ・ リーフレット 19,922枚
- ・ 引き換えカード 30枚

- ・ 女性用品 220 箱 (3,960 袋)

(配布先)

市町村、高等学校、大学、専門学校、公民館、警察署、その他相談・支援窓口等

○ **Web等による広報**

Webサイト「新潟県女性ための相談窓口 (NRにいがたRibbon net)」の運用・他団体窓口情報の広報

(4) 行政職員交流支援事業

○ **第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標**

I 男女平等を推進する社会づくり

市町村の男女共同参画に関する施策を支援するため、市町村の担当職員等を対象とした研修及び情報交換会を開催した。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 市町村行政職員基礎研修会 | <u>実施1回 (計画1回)</u> |
| ② 男女共同参画推進体制づくり研修会 | <u>実施1回 (計画1回)</u> |
| ③ 共働のまちづくりのための研修会 | <u>実施1回 (計画1回)</u> |

日時・場所	実施概要	参加
5月8日(水) 14:00～16:00 【オンライン】	○ 男女共同参画行政職員基礎研修会 「地域の男女共同参画を前に進めるために ～行政の役割や課題を考えよう～」 (講師) 瀬山 紀子 (埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授)	17自治体 38(15)③⑧ 人
10月16日(水) 13:30～16:30 村上市役所 【オンライン併用】	○ 共働のまちづくりのための研修会 「いっしょにやる、ということ」 (講師) 加留部 貴行 (九州大学大学院客員准教授、 NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー)	5自治体 24(12)②④ 人
1月9日(木) 13:30～15:30 【オンライン】	○ 男女共同参画推進体制づくり研修会 人口減少対策×男女共同参画 「兵庫県豊岡市の事例から学ぶ ジェンダーギャップ解消の取り組み」 (講師) 兵庫県豊岡市くらし創造部 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課	16自治体 21(9)②① 人
計	延べ 38 自治体	83(36)⑧③人

4 相談事業（公益目的事業4）

広く男女共同参画に関する県民や事業者等からの相談を受け付け、必要に応じて関係機関、団体等と連携しながら問題の解決を支援した。

(1) 新潟県男女平等推進相談室運営事業（県委託事業）

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

I—2 男女平等の視点に立った社会制度・慣行等の見直し

I—4 女性等に対するあらゆる暴力の根絶

III—4 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

新潟県と連携し、性別による差別的な取扱いその他の男女平等社会の形成を阻害する行為をはじめ、男女共同参画に関する相談を受け付け、必要に応じて関係機関等と連携して対応した。

- 相談室の設置 新潟ユニゾンプラザ3階相談室
- 相談員の配置 3人
- 特別相談の設置 弁護士による法律相談 毎月2回配置
精神科医師による心の相談 毎月1回配置
- 相談の受付 月曜日から土曜日（祝日等除く）
- 相談方法 電話、面談

* 相談実績（別紙のとおり）
相談件数 1,305件

(2) つながりサポート（アウトリーチ支援）事業（県委託事業）

○第4次新潟県男女共同参画計画の関連重点目標

III—4 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

新潟県や県内民間NPO等と連携し、孤立・孤独等、様々な困難を抱える女性を対象とした交流会の開催、専門相談機会の提供及び訪問・同行による相談・支援を行なった。（県フードバンク連絡協議会に再委託）

- ① 相互支援の交流の場（ピアサポートイベント）の開催
実施 23回
- ② 困難な問題を抱える女性に対する個別訪問・同行支援の実施
支援等人数 延べ126人

5 新潟県女性センター（女性団体交流室等）貸与事業（その他事業）

女性の地位の向上と社会参加に資する活動等を支援するため、女性団体交流室、ワーキングルーム等の貸出を行った。

(1) 新潟県女性センター貸付施設等

- ・ 女性団体交流室1（有償。定員30人）
- ・ 女性団体交流室2（有償。定員60人）
- ・ ワーキングルーム（無料。印刷機、紙折機、裁断機及びパソコン設置）
- ・ その他設備（音響備品、Web会議機器、印刷機等）

(2) 施設の利用状況

年度	女性団体交流室1			女性団体交流室2			ワーキング ルーム			合 計		
	日数	団体	人数	日数	団体	人数	日数	団体	人数	日数	団体	人数
令和 元	175	179	2,153	169	180	4,469	104	64	501	448	423	7,123
令和 2	188	170	1,083	199	190	3,187	53	34	221	440	394	4,491
令和 3	206	189	1,268	198	240	3,140	57	36	198	461	465	4,602
令和 4	216	185	1,453	229	271	3,834	109	13	294	554	469	5,581
令和 5	226	299	1,717	221	231	3,849	105	19	347	552	449	5,913
令和 6	221	203	1,870	226	252	4,294	133	34	390	580	489	6,554

<管理部門>

1 理事会及び評議員会

ア 第1回理事会

- 開催期日 令和6年5月20日
- 開催場所 新潟県女性センター女性団体交流室2
- 出欠等
理事現在数7名、出席理事数6名、監事出席2名
- 決議事項
 - (1) 令和5年度事業報告について（承認事項） 第1号議案
 - (2) 令和5年度決算について（承認事項） 第2号議案
 - (3) 令和5年度資産運用実績及び令和6年度資産運用計画について（承認事項） 第3号議案
 - (4) 評議員の補欠選任候補者について（決議事項） 第4号議案
 - (5) 理事の補欠選任候補者について（決議事項） 第5号議案
 - (6) 評議員会の招集及び評議員会に提出する議案について（決議事項） 第6号議案
 - (7) 職務の執行状況について 報告事項1
 - (8) 今後の事業予定について 報告事項2

イ 定時（第1回）評議員会

- 開催期日 令和6年6月11日
- 開催場所 新潟県女性センター女性団体交流室2
- 出欠等
評議員数7名、出席評議員数7名、理事出席2名
- 決議事項
 - (1) 評議員の補欠選任について（承認事項） 第1号議案
 - (2) 令和5年度事業報告について 報告事項1
 - (3) 令和5年度決算について（承認事項） 第2号議案
 - (4) 理事の補欠選任について（決議事項） 第3号議案
 - (5) 今後の事業予定について 報告事項2

ウ 第2回理事会（決議の省略の方法）

- 提案日 令和6年7月11日
- 提案者 理事長 畠山典子
- 提案事項（決議の目的である事項）
第1号議案 評議員の補欠選任候補者について
- 書面による同意及びみなし決議
理事の全員から書面により同意を得たこと及び監事の全員から書面により意義がないとの確認を得たことから、令和6年7月20日に当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

エ 第2回評議員会（決議の省略の方法）

- 提案日 令和6年7月25日
- 提案者 理事長 畠山典子
- 提案事項（決議の目的である事項）
第1号議案 評議員の補欠選任について
- 書面による同意及びみなし決議
評議員の全員から書面により同意を得たことかから、令和6年7月31日に当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

オ 第3回理事会（決議の省略の方法）

- 提案日 令和6年12月25日
- 提案者 理事長 畠山典子
- 提案事項（決議の目的である事項）
第1号議案 評議員の補欠選任候補者について
- 書面による同意及びみなし決議
理事の全員から書面により同意を得たこと及び監事の全員から書面により意義がないとの確認を得たことから、令和7年1月15日に当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

カ 第3回評議員会（決議の省略の方法）

- 提案日 令和7年1月20日
- 提案者 理事長 畠山典子
- 提案事項（決議の目的である事項）
第1号議案 評議員の補欠選任について
- 書面による同意及びみなし決議
評議員の全員から書面により同意を得たことから書面により意義がないとの確認を得たことから、令和7年1月30日に当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

キ 第4回理事会

- 開催期日 令和7年3月5日
- 開催場所 新潟県女性センター女性団体交流室2
- 出欠等
理事現在数8名、出席理事数6名、監事出席1名
- 決議事項
 - (1) 令和7年度事業計画及び収支予算について（決議事項） 第1号議案
 - (2) 任期満了に伴う評議員、理事、監事及び顧問の候補者の選定方針について（決議事項） 第2号議案
 - (3) 評議員会の招集及び評議員会に提出する議案について（決議事項） 第3号議案
 - (4) 職務の執行状況について 報告事項

ク 第4回評議員会

- 開催期日 令和7年3月26日
- 開催場所 新潟県女性センター女性団体交流室1

- 出欠等
評議員数 9 名、出席評議員数 8 名、監事出席 1 名
- 承認事項
 - (1) 令和 7 年度事業計画及び収支予算について（承認事項） 第 1 号議案
 - (2) 任期満了に伴う評議員、理事及び監事の候補者の選定方針について
(承認事項) 第 2 号議案
 - (3) 令和 6 年度事業の実施状況について 報告事項

2 組織体制

ア 評議員、理事、監事及び顧問

- 評議員の選任（令和 6 年 6 月 11 日定時評議員会）
荒木治美評議員が辞任され（令和 6 年 3 月 29 日辞任）、補欠として市川尚評議員が選任された
- 理事の就任
坂上隆行理事が選任された。（令和 6 年 6 月 11 日定時評議員会）
- 評議員の選任（令和 6 年 7 月 31 日第 2 回評議員会（決議の省略の方法））
丹後直子評議員（令和 6 年 6 月 11 日辞任）及び折居千恵子評議員（令和 6 年 6 月 24 日辞任）が辞任され、補欠として斎藤トシ子評議員及び小野裕子評議員が選任された。
- 評議員の選任（令和 7 年 1 月 30 日第 3 回評議員会（決議の省略の方法））
渡邊 登評議員が辞任され（令和 6 年 5 月 7 日辞任）、伊藤嘉高評議員が選任された。
- 現在の選任状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）
評議員 9 人、理事 8 人、監事 2 人、顧問 2 人

* 評議員、理事、監事及び顧問の任期は、令和 7 年 6 月開催予定の定時評議員会の終結の時まで。

イ 事務局（令和 7 年 3 月 31 日現在）

常勤職員 10 人

事務局長 1、課長 1、専門員 3、事務局員 1、嘱託員 2、相談員 2

3 賛助会員及び利用会員の状況（令和7年3月末）

（単位 人）

		令和6年3月末	令和7年3月末	増減
賛助 会員	個人会員	92	88	△4
	団体会員	18	16	△2
	法人会員	9	8	△1
	計	119	112	△7
利用 会員	個人会員	48	41	△7
	団体会員	39	43	4
	法人会員	8	9	1
	計	95	93	△2
合計	個人会員	140	129	△11
	団体会員	57	59	2
	法人会員	17	17	—
	計	214	205	△9

（会員制度の概要）： 平成30年4月から現行制度

女性財団の目的や活動に賛同し、継続的に財団の活動を支援していただける方を会員とし、財団の情報紙や啓発誌、財団事業の案内等を送付している。

① 会員の種類

・ 賛助会員

会費は財団へのご寄附として財団の活動に使用。

個人会員にあつては所得税法上の所得控除等を受けられる。

・ 利用会員

特典として、人材育成セミナーの参加費や女性団体交流室の施設管理協力金（利用料金）の割引が受けられる。（税制上の優遇措置はなし。）

② 会費（年額）

個人会員 1口 2,000円以上（利用会員は3,000円以上）

団体会員 1口 5,000円以上

法人会員 1口 20,000円以上

4 新潟県知事への届出

ア 評議員の変更（認定法第13条第1項）

- ・ 届出日 令和6年4月15日（5月2日手続き完了）
- ・ 届出事項 評議員の辞任

イ 令和6年度事業計画書等（認定法第22条第1項）

- ・ 届出日 令和6年5月7日（6月14日手続き完了）
- ・ 届出事項
 - ① 事業計画書
 - ② 収支予算書
 - ③ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
 - ④ 理事会及び評議員会の承認を受けたことを証する書類

ウ 令和5年度事業報告等（認定法第22条第1項）

- ・ 届出日 令和6年6月12日（6月17日手続き完了）
- ・ 届出事項
 - ① 財産目録
 - ② 役員名簿等
 - ③ 役員等に対する報酬等の支給基準
 - ④ 計算書類等
 - ⑤ 運営組織及び事業活動の状況の概要等
 - ⑥ その他

エ 評議員の変更（認定法第13条第1項）

- ・ 届出日 令和6年6月17日（6月20日手続き終了）
- ・ 届出事項 評議員の辞任

オ 評議員及び理事の変更（認定法第13条第1項）

- ・ 届出日 令和6年7月19日（8月1日手続き終了）
- ・ 届出事項 評議員の就任及び辞任、理事の就任

カ 評議員の変更（認定法第13条第1項）

- ・ 届出日 令和6年8月26日（10月4日手続き完了）
- ・ 届出事項 評議員の就任

キ 評議員の変更（認定法第13条第1項）

- ・ 届出日 令和7年2月19日（4月7日手続き完了）
- ・ 届出事項 評議員の就任

ク 令和7年度事業計画等（認定法第22条第1項）

- ・ 届出日 令和7年3月31日（審査中）
- ・ 届出事項
 - ① 事業計画書
 - ② 収支予算書
 - ③ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
 - ④ 理事会及び評議員会の承認を受けたことを証する書類

5 公益事業への寄付金の収入状況（合計 657,036 円）

賛助会員から賛助会費として 577,000 円の寄付があった。

また、令和7年11月に実施した「女性に対する暴力をなくす運動」の取組に対し、県職員等から 78,761 円の寄付があったほか、一般県民等から 1,275 円の寄付があった。

6 令和6年度の資産運用に関する報告

令和6年度の資産運用実績は基本財産、特定資産合計で 582,209 円となった。

7 公益財団法人の運営に関する情報公開

次の資料を事務所入口のキャビネットに「閲覧資料」として備え置き、一般の

閲覧に供している。

なお、令和6年度、財団文書等の情報公開の請求はなかった。

- 事業計画書（資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類を含む。）
- 収支予算書
- 事業報告書
- 決算報告書（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）
- 監査報告
- 定款
- 評議員及び役員等名簿
- 理事長に対する報酬の支給基準
- 役員、評議員及び顧問報酬規程
- 運営組織及び事業活動の状況の概要等

8 新潟県監査委員による監査

令和6年12月11日（水）

（指摘事項）契約書の作成が必要であった契約にもかかわらず、作成していないものがあつた。会計処理規程に基づいた事務処理を行われたい。

（措置の内容＝県政策企画課から監査委員事務局への回答）

職員全員に会計処理規程の内容確認を徹底させるとともに、会計担当者および決裁権者において、個々の決裁案件の内容確認を徹底する旨、法人から報告を受けて確認いたしました。

今後はより一層適正な事務処理を行うよう指導してまいります。

9 公益財団法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査

令和6年度はなかった。

< そ の 他 >

令和6年度事業報告の附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、作成していない。

令和7年5月

公益財団法人 新潟県女性財団

付 属 資 料

1 基本財産及び利息収入状況

(単位：円)

区 分	設 立 時	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度
基 本 財 産	100,000,000	101,450,707	102,220,707	104,630,117	109,034,875
利 息 収 入	—	2,449,827	2,232,270	1,738,106	956,215
区 分	平成 9 年度	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度
基 本 財 産	111,211,333	112,050,659	112,611,059	113,692,134	113,976,777
利 息 収 入	842,417	704,566	419,941	500,813	495,812
区 分	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
基 本 財 産	114,424,492	114,717,182	114,904,122	115,071,884	115,137,017
利 息 収 入	511,230	594,453	2,209,647	2,615,423	2,917,436
区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
基 本 財 産	115,210,068	115,354,034	115,522,262	115,615,396	115,704,092
利 息 収 入	2,525,253	2,420,045	1,491,012	1,648,333	1,675,162
区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
基 本 財 産	115,747,408	115,789,812	115,832,216	115,869,156	115,907,652
利 息 収 入	1,634,736	1,612,109	1,612,111	1,586,007	1,374,526
区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
基 本 財 産	115,948,793	115,989,934	116,031,039	116,072,071	116,112,763
利 息 収 入	1,193,002	1,193,002	1,193,281	1,030,474	922,488
区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
基 本 財 産	116,140,602	116,143,934	116,147,266		
利 息 収 入	979,231	582,158	582,209		

2 会員及び会費収入状況

(金額単位：千円)

区分	平成7年度			平成8年度			平成9年度			平成10年度			平成11年度		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	179	226	452	294	376	752	283	343	686	315	417	834	324	409	818
団体会員	24	28	140	41	68	340	43	68	340	55	80	400	61	86	430
法人会員	11	12	240	17	19	380	19	20	400	18	19	380	18	19	380
計	214	266	832	352	463	1,472	345	431	1,426	388	516	1,614	403	514	1,628
区分	平成12年度			平成13年度			平成14年度			平成15年度			平成16年度		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	392	480	960	393	508	1,016	344	416	832	339	401	804	337	412	825
団体会員	66	91	455	69	91	455	72	94	470	74	99	495	74	108	539
法人会員	18	19	380	19	20	400	19	19	380	22	22	440	23	23	460
計	476	590	1,795	481	619	1,871	435	529	1,682	435	522	1,739	434	543	1,824
区分	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	318	393	789	292	359	719	289	358	718	276	326	653	261	317	636
団体会員	74	110	550	71	107	535	70	102	510	68	96	480	64	82	410
法人会員	21	21	420	22	22	440	22	22	440	22	22	440	21	21	420
計	413	524	1,759	385	488	1,694	381	482	1,668	366	444	1,573	346	420	1,466
区分	平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	242	289	579	228	267	538	222	269	540	234	280	560	231	264	530
団体会員	63	91	455	66	89	445	65	87	435	60	79	395	59	79	395
法人会員	22	22	440	19	19	380	17	17	340	17	17	340	18	18	360
計	327	402	1,474	313	375	1,363	304	373	1,315	311	376	1,295	308	361	1,285
区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額	加入数	口数	金額
個人会員	248	281	562	238	258	517	219	253	567	194	265	636	176	214	553
団体会員	60	80	400	62	85	425	59	79	395	65	85	425	64	82	410
法人会員	19	19	380	21	21	420	19	19	380	19	19	380	19	23	460
計	327	380	1,342	321	364	1,362	297	351	1,342	278	369	1,441	259	319	1,423

区 分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
賛 助 会 員	会 員	個人会員	138	126	118	107	107	92	88
		団体会員	25	23	23	20	20	18	16
		法人会員	10	10	10	10	9	9	8
		計	173	159	151	137	136	119	112
	口 数	個人会員	209	164	160	136	151	123	117
		団体会員	43	39	40	36	36	31	24
		法人会員	10	10	10	10	9	9	8
		計	262	213	210	182	196	163	149
	金 額	個人会員	470	403	354	324	358	310	300
		団体会員	215	195	200	180	180	155	117
		法人会員	200	200	200	200	180	180	160
		計	885	798	754	704	718	645	577
利 用 会 員	会 員	個人会員	56	50	40	44	44	48	41
		団体会員	40	41	41	41	39	39	43
		法人会員	9	9	10	10	9	8	9
		計	105	100	91	95	92	95	93
	口 数	個人会員	56	50	41	46	45	49	42
		団体会員	42	43	45	42	40	40	49
		法人会員	9	13	12	23	18	17	18
		計	107	106	98	111	103	106	109
	金 額	個人会員	166	150	123	139	135	146	125
		団体会員	210	215	225	210	200	200	245
		法人会員	180	260	240	460	370	340	360
		計	556	625	588	809	705	686	730
合 計	会 員	個人会員	194	176	158	151	151	140	129
		団体会員	65	64	64	61	59	57	59
		法人会員	19	19	20	20	18	17	17
		計	278	259	242	232	228	214	205
	口 数	個人会員	265	214	201	182	196	172	159
		団体会員	85	82	85	78	76	71	73
		法人会員	19	23	22	33	27	26	26
		計	369	319	308	293	299	269	258
	金 額	個人会員	636	553	477	463	493	456	425
		団体会員	425	410	425	390	380	355	362
		法人会員	380	460	440	660	550	520	520
		計	1,441	1,423	1,342	1,513	1,423	1,331	1,307

(注) 平成30年度から会員を賛助会員と利用会員の2区分とした。

3 新潟県女性センター施設利用状況

年度	女性団体交流室 1			女性団体交流室 2			ワーキングルーム			合 計		
	日数	団体	人数	日数	団体	人数	日数	団体	人数	日数	団体	人数
8	65	78	1,431	22	23	1,246	14	14	66	101	115	2,743
9	146	161	2,653	80	82	1,060	68	76	226	294	319	3,939
10	136	149	2,329	93	98	1,271	106	121	351	335	368	3,951
11	171	186	2,881	97	108	1,489	167	204	610	435	498	4,980
12	204	250	2,719	97	102	2,206	154	179	543	455	531	5,468
13	179	198	2,421	110	123	2,896	110	125	376	399	446	5,693
14	163	177	2,141	131	148	3,146	112	130	453	406	455	5,740
15	173	189	2,081	174	197	4,189	136	163	679	483	549	6,949
16	167	184	2,212	159	187	4,128	113	125	427	439	496	6,767
17	191	212	2,302	187	218	5,374	139	170	641	517	600	8,317
18	230	264	2,833	202	254	5,991	156	214	573	588	732	9,397
19	200	221	2,283	203	257	6,155	157	195	666	560	673	9,104
20	226	259	2,950	212	268	6,004	171	218	976	610	745	9,930
21	218	247	3,049	218	286	6,403	135	167	725	571	700	10,177
22	196	222	2,723	212	268	5,848	145	180	697	553	670	9,268
23	196	219	2,276	212	271	5,748	122	149	565	530	639	8,589
24	207	230	2,531	196	245	5,441	133	161	608	536	636	8,580
25	185	204	2,354	206	231	5,216	117	131	474	508	566	8,044
26	213	235	2,421	210	245	5,202	129	150	544	552	630	8,167
27	177	204	2,174	207	239	5,455	116	130	453	500	573	8,082
28	185	198	2,148	205	248	5,345	116	134	509	506	580	8,002
29	197	222	2,240	184	215	4,936	102	118	497	483	555	7,673
30	187	210	2,470	197	230	5,341	114	141	577	498	581	8,388
元	175	179	2,153	169	180	4,469	104	64	501	448	423	7,123
2	188	170	1,083	199	190	3,187	53	34	221	440	394	4,491
3	206	189	1,264	198	240	3,140	57	36	198	461	465	4,602
4	216	185	1,453	229	271	3,834	109	13	294	554	469	5,581
5	226	199	1,717	221	231	3,849	105	19	347	552	449	5,913
6	221	203	1,870	226	252	4,294	133	34	390	580	489	6,554

(注)平成8年8月1日から利用。平成12年度から和室(定員30名)→会議室(定員60名)に。

第 1 号 議 案

令和 6 年度決算について

〔 自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日 〕

公益財団法人新潟県女性財団の令和 6 年度決算について、次のとおり承認する。

貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,328,003	4,360,059	967,944
未収金	2,493,749	3,342,424	△ 848,675
前払金	166,418	131,875	34,543
流動資産合計	7,988,170	7,834,358	153,812
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	116,014,137	116,010,805	3,332
定期預金	133,129	133,129	0
基本財産合計	116,147,266	116,143,934	3,332
(2) 特定資産			
自主事業積立資産	6,833,653	6,100,000	733,653
特定資産合計	6,833,653	6,100,000	733,653
(3) その他固定資産			
什器備品	212,667	105,600	107,067
電話加入権	70,000	70,000	0
その他固定資産合計	282,667	175,600	107,067
固定資産合計	123,263,586	122,419,534	844,052
資産合計	131,251,756	130,253,892	997,864
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,342,681	2,842,098	500,583
前受会費（利用会員会費）	113,000	298,000	△ 185,000
前受会費（賛助会員会費）	154,000	169,000	△ 15,000
預り金	299,209	513,472	△ 214,263
未払消費税等	912,700	1,654,100	△ 741,400
流動負債合計	4,821,590	5,476,670	△ 655,080
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,821,590	5,476,670	△ 655,080
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	116,147,266	116,143,934	3,332
指定正味財産合計	116,147,266	116,143,934	3,332
（うち基本財産への充当額）	(116,147,266)	(116,143,934)	(3,332)
2. 一般正味財産			
（うち特定資産への充当額）	(6,833,653)	(6,100,000)	(733,653)
正味財産合計	126,430,166	124,777,222	1,652,944
負債及び正味財産合計	131,251,756	130,253,892	997,864

貸借対照表内訳表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	4,158,327	166,781	1,002,895	0	5,328,003
未収金	2,493,404	311	34	0	2,493,749
前払金	164,998	1,092	328	0	166,418
流動資産合計	6,816,729	168,184	1,003,257	0	7,988,170
2. 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	116,014,137	0	0	0	116,014,137
定期預金	133,129	0	0	0	133,129
基本財産合計	116,147,266	0	0	0	116,147,266
(2)特定資産					
自主事業積立資産	0	0	6,833,653	0	6,833,653
特定資産合計	0	0	6,833,653	0	6,833,653
(3)その他固定資産					
什器備品	212,667	0	0	0	212,667
電話加入権	70,000	0	0	0	70,000
その他固定資産合計	282,667	0	0	0	282,667
固定資産合計	116,429,933	0	6,833,653	0	123,263,586
資産合計	123,246,662	168,184	7,836,910	0	131,251,756
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	3,297,700	37,127	7,854	0	3,342,681
前受会費（利用会員会費）	113,000	0	0	0	113,000
前受会費（賛助会員会費）	154,000	0	0	0	154,000
預り金	289,700	6,657	2,852	0	299,209
未払消費税等	788,300	124,400	0	0	912,700
流動負債合計	4,642,700	168,184	10,706	0	4,821,590
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	4,642,700	168,184	10,706	0	4,821,590
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	116,147,266	0	0	0	116,147,266
指定正味財産合計	116,147,266	0	0	0	116,147,266
（うち基本財産への充当額）	(116,147,266)	(0)	(0)	(0)	(116,147,266)
2. 一般正味財産					
（うち特定資産への充当額）	2,456,696	0	7,826,204	0	10,282,900
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(6,833,653)	(0)	(6,833,653)
正味財産合計	118,603,962	0	7,826,204	0	126,430,166
負債及び正味財産合計	123,246,662	168,184	7,836,910	0	131,251,756

正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	582,209	582,158	51
基本財産受取利息	582,209	582,158	51
受取会費	730,000	686,000	44,000
利用会員受取会費	730,000	686,000	44,000
事業収益	37,543,248	35,705,650	1,837,598
情報事業収入	114,000	9,200	104,800
受講料収入	211,900	544,400	△ 332,500
施設管理協力金等収入	1,690,180	1,457,050	233,130
県事業受託収益	35,520,000	33,177,000	2,343,000
市事業受託収益	0	410,000	△ 410,000
支援・交流事業収入	7,168	108,000	△ 100,832
受取補助金等	27,051,600	27,051,600	0
受取県費補助金	27,042,000	27,042,000	0
受取助成金	9,600	9,600	0
受取寄付金	657,036	727,612	△ 70,576
事業寄付金	80,036	82,612	△ 2,576
賛助会員受取会費	577,000	645,000	△ 68,000
雑収益	4,017	120	3,897
受取利息	4,017	120	3,897
経常収益計	66,568,110	64,753,140	1,814,970
(2) 経常費用			
事業費	64,238,385	64,686,219	△ 447,834
役員報酬	290,000	510,000	△ 220,000
給料手当	31,282,895	29,714,401	1,568,494
福利厚生費	6,679,883	6,388,025	291,858
旅費交通費	1,125,800	1,305,414	△ 179,614
通信運搬費	1,746,772	2,065,915	△ 319,143
広告宣伝費	707,866	879,270	△ 171,404
消耗什器備品費	1,282,275	402,280	879,995
消耗品費	2,503,334	3,243,373	△ 740,039
印刷製本費	2,295,365	3,124,957	△ 829,592
光熱水料費	1,348,488	1,360,370	△ 11,882
賃借料	2,743,044	3,133,479	△ 390,435
保守管理費	712,624	809,076	△ 96,452
保険料	50,820	82,384	△ 31,564
諸謝金	5,177,650	4,018,652	1,158,998
租税公課	1,741,000	1,675,700	65,300
手数料	172,869	224,994	△ 52,125
支払負担金	15,617	11,252	4,365
委託料	4,150,150	5,631,077	△ 1,480,927
減価償却費	211,933	105,600	106,333
管理費	680,113	1,017,820	△ 337,707
給料手当	230,264	263,214	△ 32,950
福利厚生費	48,211	45,945	2,266
会議費	5,875	5,594	281
旅費交通費	104,971	96,316	8,655
通信運搬費	12,025	28,756	△ 16,731
広告宣伝費	0	3,300	△ 3,300
消耗品費	11,165	236,661	△ 225,496
印刷製本費	12,000	14,832	△ 2,832
光熱水料費	27,522	27,762	△ 240
賃借料	41,014	45,417	△ 4,403
保守管理費	14,543	16,511	△ 1,968
保険料	200	200	0
租税公課	1,750	3,500	△ 1,750
手数料	1,590	1,996	△ 406
支払負担金	68,983	76,848	△ 7,865
支払報酬	100,000	100,000	0
減価償却費	0	50,968	△ 50,968
経常費用計	64,918,498	65,704,039	△ 785,541

科目	当年度	前年度	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	1,649,612	△ 950,899	2,600,511
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,649,612	△ 950,899	2,600,511
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,649,612	△ 950,899	2,600,511
一般正味財産期首残高	8,633,288	9,584,187	△ 950,899
一般正味財産期末残高	10,282,900	8,633,288	1,649,612
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,332	3,332	0
基本財産受取利息	3,332	3,332	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	3,332	3,332	0
指定正味財産期首残高	116,143,934	116,140,602	3,332
指定正味財産期末残高	116,147,266	116,143,934	3,332
III 正味財産期末残高	126,430,166	124,777,222	1,652,944

財産目録

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金 普通預金			5,328,003
		第四北越銀行	運転資金として	5,077,364
		第四北越銀行	同上	4,017
		ゆうちょ銀行	同上	245,622
		第四北越銀行2	同上	1,000
	未収金			2,493,749
	前払金		令和7年度保育ルーム等 保険料ほか	166,418
流動資産合計				7,988,170
(固定資産)				
基本財産				
	投資有価証券 国債第182回	みずほ証券	運用益を公益目的事業及び 管理費の財源として使用	116,014,137
				29,913,872
	新潟県公債 令和4年度	第四北越銀行	同上	7,300,000
	大阪府公債 第396回	野村證券	同上	7,000,265
	川崎市公債 第95回	みずほ証券	同上	20,000,000
	第162回共同発行 市場公募地方債	第四北越銀行	同上	23,000,000
	第210回共同発行 市場公募地方債	第四北越銀行	同上	10,000,000
	第226回共同発行 市場公募地方債	第四北越銀行	同上	18,800,000
	定期預金	第四北越銀行3	運用益を公益目的事業及び 管理費の財源として使用	133,129
特定資産	自主事業積立資産	第四北越銀行 新潟県庁支店	自主事業の資産として管理	6,833,653
その他固定資産	什器備品			212,667
	電話加入権			70,000
固定資産合計				123,263,586
資産合計				131,251,756
(流動負債)				
	未払金		3月分社会保険料事業所 負担分等	3,342,681
	前受会費		令和7年度利用会費	113,000
			令和7年度賛助会費	154,000
	預り金		源泉所得税等	299,209
	未払消費税等		令和6年度消費税	912,700
流動負債合計				4,821,590
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				4,821,590
正味財産				126,430,166

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法について

有形固定資産……定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
投資有価証券	116,010,805	3,332	0	116,014,137
定期預金	133,129	0	0	133,129
小 計	116,143,934	3,332	0	116,147,266
特定資産				
自主事業積立資産	6,100,000	733,653	0	6,833,653
小 計	6,100,000	733,653	0	6,833,653
合 計	122,243,934	736,985	0	122,980,919

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
投資有価証券	116,014,137	(116,014,137)	(0)	(0)
定期預金	133,129	(133,129)	(0)	(0)
小 計	116,147,266	(116,147,266)	(0)	(0)
特定資産				
自主事業積立資産	6,833,653	(0)	(6,833,653)	(0)
小 計	6,833,653	(0)	(6,833,653)	(0)
合 計	122,980,919	(116,147,266)	(6,833,653)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	635,800	423,133	212,667
合 計	635,800	423,133	212,667

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第182回利付国債	29,913,872	25,560,000	△ 4,353,872
新潟県公債			
令和4年度第3回	7,300,000	6,762,720	△ 537,280
大阪府公債			
第396回	7,000,265	7,000,000	△ 265
川崎市公債			
第95回	20,000,000	18,720,000	△ 1,280,000
共同発行地方債			
第162回	23,000,000	22,730,900	△ 269,100
第210回	10,000,000	9,383,000	△ 617,000
第226回	18,800,000	17,320,440	△ 1,479,560
合 計	116,014,137	107,477,060	△ 8,537,077

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
事業費補助金	新潟県	0	27,042,000	27,042,000	0	
助成金						
定期健康診断 受診料補助金	新潟市勤労者 福祉サービス センター	0	9,600	9,600	0	
合 計		0	27,051,600	27,051,600	0	